

市町がん対策担当者意見交換会について

○各市町が行うがん検診の受診率・精検受診率及び精度管理の向上を図るため、香川県におけるがんの現状及びがん検診の課題を各市町の担当者に提示し、また、その課題に対する対策を各市町相互にて意見交換を行うとともに、県の平成30年度事業実施に向けた考え方について説明を行う場として、「市町がん対策担当者意見交換会」を開催した。

1 日 時 平成30年7月24日（火）9:30～12:00

2 場 所 社会福祉総合センター7階 第2中会議室

3 内 容 【第一部 がん対策担当者会】

- (1) 本県におけるがんの現状と課題
- (2) 市町別のがんの現状と課題
- (3) がん検診受診率向上に向けた取組み
- (4) 意見交換（グループワーク）
- (5) 助言及びまとめ

【第二部 かがわ健康ポイント事業】

○意見交換（グループワーク）では、以下のような課題が挙げられた。

- ・子宮頸がん検診について、21歳を無料としているが、受診率が低い。
- ・大腸がんの精検受診率が低く、勧奨しても反応が少ない。
- ・受診する方の高齢化・固定化が見られる。
- ・退職後に受診率が低下する。

○課題に対して、以下のような解決案が議論された。

- ・若い世代の受診率を上げるため、乳幼児健診時に合わせて声かけが有効ではないか。
- ・一次検査結果通知から、タイムリーに勧奨の連絡をするのが有効ではないか。
- ・世代ごとに受診勧奨内容を変えることが有効ではないか。
- ・退職時の勧奨通知が有効ではないか。
- ・地域コミュニティの活用も有効ではないか。